

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成29年3月29日

計画の名称	1 津山城跡を中心とした歴史的街なみの保存と住・生活環境整備																											
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）					交付対象	津山市																					
計画の目標	津山城跡から東西に延びる出雲街道の歴史的街並みや道路空間、公共施設の整備により地域コミュニティを活性化し、住・生活環境の維持向上並びに歴史的風致の維持向上を図り、「住みよく、訪れたくなるまち」を目指す。																											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・城東町並み保存地区における町家、空地等の修理、修景、復元等の整備件数の割合（地区内の32%の区画を整備目標とする） ・街なみ環境整備における交流人口の増加：津山市歴史的風致維持向上計画における重点地区内の主要観光施設利用者数（3.8万人 5.3万人） 																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>建築物等の修理、修景、復元等の整備件数について、歴史的風致維持向上計画や町なみ整備計画、文化財等の整備計画をもとに算出。 (整備率) = (整備した区画数) / (町並み保存地区等の区画数) (%)</td> <td>29.0%</td> <td></td> <td>32.0%</td> <td rowspan="2">全区画数 280区画 H22末 整備済 82区画 H27末 目標 93区画</td> </tr> <tr> <td>歴史的風致維持向上計画における重点地区内の主要観光施設の年間利用者数をもとに算出。 (利用者数の増加率) = (評価時点の利用者数) / (H23当初時の利用者数) (%)</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td>140.0%</td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	建築物等の修理、修景、復元等の整備件数について、歴史的風致維持向上計画や町なみ整備計画、文化財等の整備計画をもとに算出。 (整備率) = (整備した区画数) / (町並み保存地区等の区画数) (%)	29.0%		32.0%	全区画数 280区画 H22末 整備済 82区画 H27末 目標 93区画	歴史的風致維持向上計画における重点地区内の主要観光施設の年間利用者数をもとに算出。 (利用者数の増加率) = (評価時点の利用者数) / (H23当初時の利用者数) (%)	100.0%		140.0%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																									
建築物等の修理、修景、復元等の整備件数について、歴史的風致維持向上計画や町なみ整備計画、文化財等の整備計画をもとに算出。 (整備率) = (整備した区画数) / (町並み保存地区等の区画数) (%)	29.0%		32.0%	全区画数 280区画 H22末 整備済 82区画 H27末 目標 93区画																								
歴史的風致維持向上計画における重点地区内の主要観光施設の年間利用者数をもとに算出。 (利用者数の増加率) = (評価時点の利用者数) / (H23当初時の利用者数) (%)	100.0%		140.0%																									
全体事業費	合計 (A + B + C)	470百万円	A	408百万円	B	24百万円	C	38百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		8.1%																	
事後評価																												
事後評価の実施体制、実施時期																												
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期 平成29年3月																						
都市建設部歴史まちづくり推進室						公表の方法 津山市ホームページ																						
1. 交付対象事業の進捗状況																												
A 基幹事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
								H23	H24	H25	H26	H27																
1-A-1	住宅	一般	津山市	直/間	市/個人	城東地区街なみ環境整備事業	協議会活動助成、小公園整備、通路整備、生活環境施設、歴史的風致形成建造物整備、地区物件調査等 面積：159ha						380															
1-A-2	住宅	一般	津山市	直/間	市/個人	城西地区街なみ環境整備事業	協議会活動助成、小公園整備、防火水槽整備、案内板整備、歴史的風致形成建造物整備、地区物件調査等 面積：121ha						28															
合計											408																	
B 関連社会資本整備事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考												
										H23	H24	H25	H26	H27														
1-B-1	道路	一般	津山市	直接	市	道路改良	福岡H43号線道路改良事業(城東地区)	道路拡幅 L=50m W=5.0m	津山市						7													
1-B-2	道路	一般	津山市	直接	市	道路改良	八出H4号線道路改良事業(城東地区)	道路拡幅 L=80m W=4.0m	津山市						12													
1-B-3	道路	一般	津山市	直接	市	道路改良	市道1006号線他道路改良事業(城西地区)	道路拡幅 L=270m W=9.0m	津山市						5													
合計											24																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																
1-B-1	狭小幅員部を改善することにより、緊急車両等の円滑な通行が可能となることから、地区防災性の向上が期待できる。																											
1-B-2	狭小幅員部を改善することにより、歩行者の安全確保を図るとともに緊急車両等の円滑な通行が可能となることから、地区防災性の向上が期待できる。																											
1-B-3	狭小幅員部を改善することにより、緊急車両等の円滑な通行が可能となることから、地区防災性の向上が期待できる。																											

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	住宅	一般	津山市	間接	団体	-	城東むかし町支援事業(城東地区)	イベント助成	津山市						3	
1-C-2	住宅	一般	津山市	直接	市	-	鶴山公園整備事業(城東地区)	広場整備	津山市						8	
1-C-3	住宅	一般	津山市	直接	市	-	津山東公民館整備設計事業(城東地区)	公民館等の一体的な設計	津山市						11	
1-C-4	住宅	一般	津山市	間接	団体	-	城西まるごと博物館支援事業(城西地区)	イベント助成	津山市						2	
1-C-5	住宅	一般	津山市	直接	市	-	歴史的風致形成建造物活用推進事業	建造物資料の作成	津山市						1	
1-C-6	住宅	一般	津山市	直接	市	-	景観計画策定事業	景観計画の策定	津山市						3	
1-C-7	住宅	一般	津山市	間接	団体	-	神輿・だんじり保管庫整備事業	保管庫の整備	津山市						7	
1-C-8	住宅	一般	津山市	直接	市	-	防災対策促進事業	地区防災整備	津山市						3	
合計														38		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C-1	むかし町家を利用したイベントを行うことで、地区情報の発信、地域住民の交流、さらに観光客の増加が見込まれ地区の活性化が期待される。															
1-C-2	公園広場の整備を行うことで、地域住民の交流、さらに観光客の増加が見込まれ地区の活性化が期待される。															
1-C-3	公民館、多目的広場の一体的な設計を行うことで、効率的かつ効果的な設計となる。															
1-C-4	むかし町家を利用したイベントを行うことで、地区情報の発信、地域住民の交流、さらに観光客の増加が見込まれ地区の活性化が期待される。															
1-C-5	歴史的風致形成建造物の整備を行うことで、住民への歴史的街並み保存意識の向上及び地域の活性化が期待できる。															
1-C-6	景観計画、景観規制を定めることで、良好な街なみ形成の推進が期待される。															
1-C-7	神輿・だんじり保管庫を整備することで、住民への歴史的街並み保存意識の向上及び地域の活性化が期待できる。															
1-C-8	防災対策を促進することで、地区の安全・安心が高まるとともに防災性の向上が期待できる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

1 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 城東地区における町家の修理・修景件数 17件(内 文化庁補助による実施14件) 城東むかし町、城西まるごと博物館というイベントに助成を行い、地域住民の交流の機会となり観光客も増加した。 東津山城東95号線の道路美装化を行い、街なみに統一感が生まれた。 				
定量的指標の達成状況 交付対象事業の効果の発現状況	指標 城東地区の町家、空き地 等の修理、修景、復元等 の整備件数の割合	最終目標値	32%	目標値と実績値 に 差が出た要因	観光地としての知名度向上に伴い、想定を上回る交流人口の増加があったもの。
		最終実績値	35%		
	指標 交流人口の増加・主要観 光施設の利用者数増加率	最終目標値	140%	目標値と実績値 に 差が出た要因	
		最終実績値	175%		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	まちづくり協議会への支援や生活環境施設の整備を通じて、地域住民の自発的なまちづくり活動への参画が進んだ。また、道路の狭小幅員の改善等により、地域の住環境改善に資することが出来た。				

3. 特記事項(今後の方針等)

市道1006号線他道路改良事業や小公園整備を通じて、遅れ気味だった城西地区の住環境整備を推進する。あわせて防火水槽設置などを通して防災性向上に本格的に取り組む。